

開講科目名 / Course	精神看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	影山 隆之	
担当教員名 / Instructor	影山 隆之	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	生物 - 心理 - 社会的存在である人間の健康を主に心理社会的側面から理解するために必要な視点と知識の基礎を学び、心の健康についてのアセスメントで活用できるようになる。精神看護の歴史的反省をふまえつつ、当事者支援におけるリカバリーという考え方を説明できるようになる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康日本21における心の健康の概念を、国際生活機能分類と関連付けて説明できる。 2. 心の健康を発達・精神力動・家族・ストレス・悲嘆・危機という観点から説明できる。 3. 心の機能と関連付けて主な精神症状を説明できる。 4. 日本の精神医療史における人権問題をふまえて、精神保健医療福祉が目指すことを、一次・二次・三次予防の観点から説明できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 健康な心の成り立ち 02. 精神力動と防衛機制 03. 心の発達 04. 家族と心の健康 05. ストレス論 06. 悲嘆と危機 07. 心の機能と精神症状 08. 主な精神障害(mental disorders) 09. 精神保健医療福祉の歴史と現在のしくみ 10. 現代社会と心の健康・自殺予防 	
その他の授業の工夫	購入テキストの重点箇所について別途の印刷資料を配布し、資料中の質問について授業中に討論する。出席確認を兼ねたリアクションペーパーを毎回提出し、質問等には学内ウェブを通じて回答する。	
時間外学修	印刷資料を事前に配布するので、資料中の質問について授業前に考えてから授業に臨む必要がある。印刷資料と購入テキストの関係を授業後に確認し、後日の振り返りに備える。	
評価方法と評価割合	出席と授業参加10%、最終筆記試験90%	
テキスト	精神看護学1 精神看護学概論/精神保健(メヂカルフレンド社)	
参考書	学内ウェブに随時掲載する。	
履修する上で必要な要件	人間心理学関係の単位を取得していること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	影山隆之：離島の病院の精神科における訪問診療
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	地域精神保健福祉と医療の接続について双方の視点から授業する。	